

2019年3月25日

各位

**ADK アートギャラリーに新たな作品が登場**

デボン紀生物「ティクターリク」をモチーフに、「新生 ADK グループ」を表現

株式会社 ADK ホールディングス(本社:東京都港区、代表取締役社長:植野伸一)では、2014 年から本社 13 階のエントランス横にアートギャラリーを設け、気鋭の若手アーティストが ADK のために制作したオリジナル作品を展示しています。この度、新たなアート作品が完成し、展示を開始いたしましたので、お知らせいたします。

ADK アートギャラリーでは、小山登美夫ギャラリーの協力を得て、当社グループのアートディレクターがアーティストを選定し、「The Power of Action」をテーマに、オリジナル作品を制作いただいています。ADK の CSR 活動の一環として開始し、ほぼ一年ごとに作品を入れ替え、既成概念に捉われない新しい才能を紹介し、その活動を応援しています。

新しく展示されている作品は、アーティスト山野千里氏による「ティクターリク先輩の上陸パレード」。今回は「The Power of Action」に加え、2019年1月より新体制となった「新生ADKグループ」をテーマに作品の創作をお願いしました。実際にADKのオフィスを訪ねた山野氏は、「新しい一歩を踏み出すイメージ」から生物が陸上に上がろうとしたその瞬間を表現しようと、「ティクターリク」という最初に陸に上がった生物の一つではないかと考えられている、デボン紀後期3億7500万年前にいたワニのような魚のような生物(実際は全長2.7m)を作品のモチーフとし、このティクターリクを中心に同時代とそれ以前の生物たちを引き連れて、いよいよ上陸するぞ!と進んでいる様子をパレードに見立てて制作されています。



山野千里「ティクターリク先輩の上陸パレード」

## 【山野千里プロフィール】

1977年 大阪生まれ

1997年 京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻

1999年 京都市立芸術大学美術学部工芸科専攻陶磁器転科

2005年 京都市立芸術大学美術科美術研究科工芸専攻陶磁器修了

現在、京都を拠点に制作活動

## ＜作品について＞

手がける陶器には、動物や植物を主なモチーフに、自身の記憶やイメージの断片からどんどん広がっていく想像力と、言葉遊びのように展開する物語が詰まっています。

しばしば即興的な指の動きによって造形されていく作品は、不思議にも動物と人との調和のとれた世界をつくりあげます。

## 【これまでに展示した作品】



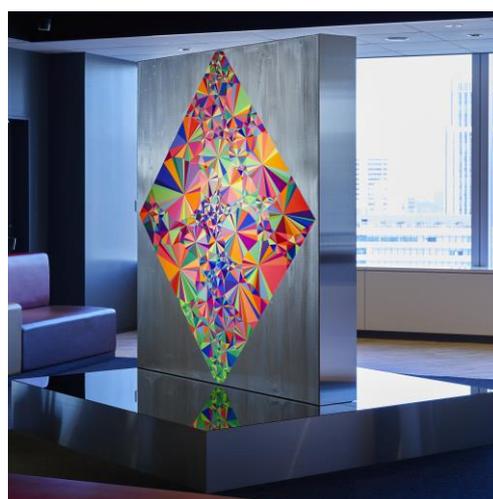
2014年 廣瀬智央「Power of Action - 豆の神話学」



2015年 三宅信太郎「ラビットハウス」



2016年 佐藤翠「Red mirror closet I、II」  
「Rhododendron mirror garden」「Mirror tweed carpet」



2017年大野智史「Prism double diamonds.

プリズム ダブルダイヤモンド」

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。  
株式会社ADKホールディングス グループ広報室 中島/平尾  
TEL. 03-6830-3855 e-mail: adkpr@adk.jp